2021-2022 年度
藤沢ロータリークラブ週報

2021-2022 年度 RI テーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第 2780 地区　ガバナー　　田島　透
第 3 グループガバナー補佐　椋梨　兼彰

■創　立　／　昭和 29 年 6 月 3 日　　■第 68 代　会長　／　吉川　栄紀　　幹事　／　廣島　純
■事務所　／　藤沢市藤沢 93 新堀ライブ館 204　TEL：0466-25-4000　FAX：0466-26-9292　E-mail：info@fujisawa-rotary.com
■例会日　／　毎週水曜日 12:30～13:30　　■例会場／　湘南クリスタルホテル TEL：0466-28-2111

NO.21　第 3253 例会　２０２２年　５月　１８日　天候　晴れ

ロータリーソング「それでこそロータリー　」
「四つのテスト」　鈴木　大次　会員

≪入会式≫

鈴木　敏治　会員（SMBC 日興証券支店長）
佐々木　俊二　会員(かながわ信用金庫営業部長)

推薦会委員の田中会員より、鈴木新会員、佐々木新会員のご紹介

新会員お二人よりご挨拶いただきました
これからよろしくお願い致します

出席報告　（　）内は計算に用いた会員数
〔　〕内は ZOOM 出席者

例会月日	会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率	メークアップ会員数	修正出席者数	修正出席率
4月20日	43(42)名	23名	19名	54．76%	4名	27名	64．29%
5月18日	43(42)名	25名	17名	59．52%			

≪会長報告≫

・5 月 15 日、大和 RC の創立 60 周年記念式典に、幹事と出席しました。藤沢 RC がスポンサークラブということで、ご挨拶を致しました。感謝状をいただきましたのでご披露いたします。

・地区大会で R 財団より ERERY クラブ、100%寄付クラブのバナーとポリオ寄付の感謝状が授与されました。

≪幹事報告≫

・5 月 11 日の理事役員会報告

1. 鈴木敏治会員、佐々木俊二会員の入会承認
2. 大和 RC 創立記念式典に会長幹事の出席を承認
3. 藤沢 RC 創立 70 周年に向けて、実行委員会の設立は、次年度より開始
4. 吉川会長年度の最終例会は、銀座アスター藤沢賓館で開催
5. 1-3 月の会計報告について記載に不備がありましたので、次月再報告
6. 6 月 1 日（水）、今年度の創立記念例会には、小山明子様を卓話ゲストとしてお招きすることが決まりました。

≪委員会報告≫

・勝又　茂成　会員

ジェイコム湘南・神奈川よりご案内です。

「地元に乾杯　居酒屋石ちゃん」という番組のチラシを配布させていただきました。2 月から始まった対談番組で、全国展開中です。湘南神奈川では、大小原会員と鈴木宮司にご出演いただきました。7 月にオンエアされます。よろしくお願い致します。

・下野　多佳子　親睦委員

5 月 25 日（水）は「甚伍朗鮨」さんで、夜間例会です。20 日出席締め切りとなっております。

6 月 22 日（水）の吉川会長年度最終例会は、銀座アスター藤沢賓館を会場としています。よろしくお願い致します。

≪お祝い≫

結婚記念日 5 月 18 日　瀧澤　秀俊　会員

37 回目の記念日をお迎えです。

ご夫妻でゴルフ競技会にご出席なさいました。72 でまわられて、見事優勝!!

≪ポール・ハリス・フェローのご披露≫

合計 1,000 ドルごとを寄付した個人に、ロータリー財団より、ポール・ハリス・フェローの称号が贈られます。

1 回目≪感謝状とポール・ハリス・フェローのピン≫

星谷　けい子（ほしや　けいこ）会員

≪スマイル報告≫

吉川　栄紀　会長

本日入会されました鈴木敏治様、佐々木俊二様おめでとうございます。これからよろしくお願い致します。

イニシエーションスピーチの崎山様、大変お待ちどう様でした。よろしくお願い致します。

瀧澤　秀俊　会員

結婚記念日祝い、ありがとうございました。

大野木　加代子　会員

５月９日結婚記念日祝い頂戴しました。ありがとうございました。

崎山さんのイニシエーションスピーチ楽しみです。よろしくお願いします。

廣島　純　会員

崎山様、今日はよろしくお願いします。

≪3 分間スピーチ≫

深谷　大樹　会員

モチベーションについてお話します。「モチベーションをあげる」と言いますが、「挙げる」という意味です。私の場合、仕事の原動力を挙げるわけです。

人生を構成する八つの要素、仕事、人間関係、健康、教養、お金、趣味、精神の感動、環境。

これによって、働く理由も人によります。モチベーションの挙げ方も違います。その人によってあったモチベーションの挙げ方の見極めが重要です。それには、日頃のコミュニケーションしか方法はありません。仕事の話以外、家族や趣味とかの何気ない会話で相手の価値観、バックボーンから、８つの要素の何を重要視しているか知る事が、相手のモチベーションの挙げる要素を理解することができます。

皆様の参考になれば、幸いです。

≪卓話≫

イニシエーションスピーチ

株式会社新江ノ島水族館

館長　ゼネラルキュレーター

崎山　直夫　会員

崎山直夫と申します。旧江の島水族館で１０年、リニューアルした新江ノ島水族館で１８年働いてきて昨年４月より館長職を拝命いたしました。同じタイミングで藤沢ロータリークラブに入会させていただきました。よろしくお願いいたします。

１９６８年、東京荻窪生まれで今年５４歳になります。父と母、そして兄が一人の４人家族でした。祖父、父は宗教家で人の道を説く仕事をしていました。母も同様に事務職的なことをやっていました。そのため物心ついた時には神に手を合わせることが当たり前の生活をしていました。大学以降はすっかり離れてしまいましたが、私の生き方、考え方にはそれなりに影響があったものと思います。

現在は、妻と子どもが３人の５人家族です。すべて女の子でそれぞれ大学、高校、中学に通っています。趣味は音楽鑑賞・演奏、写真、映画、旅行。また、水族館めぐりと、海の生きものに関して見る、釣る、採る、撮る、食べる、調べるといったこと、は趣味なのか仕事なのか区別がつきません。妻に私の性格を聞いたところ、まじめ、臨機応変と答えてくれました。就職して初めて神奈川に住み始めて２８年になります。藤沢という街が大好きです。

記憶が残っている最初はおそらく幼稚園に入る少し前、東京の新宿にいる頃です。今のようにテレビゲームはありませんでしたから、家の内外をかけずり回って遊んでしました。また、プラモデルや工作キットなど、モノをつくることも大好きで、これは今の生活で

も役立っています。４つ年上の兄にくっついていろいろな遊びを教わりました。今の仕事につながる魚釣りにどういうきっかけで行くようになったのかは覚えていませんが、住んでいた東京、新潟、岡山の各地でしばしば竿を出していました。この頃から釣り具メーカーが出していた「釣魚図鑑」をベースに魚を覚えました。読めない字がたくさんありましたが、釣り方や生態が出ていて興味をそそられました。小学校の卒業文集には、カナダで行われるサーモンダービーに出て優勝する、といった将来の夢を書いていました。釣りマンガや、WIDE SHOW 11PM のイレブンフィッシング、マチャアキ海を行くなどのテレビ番組に感化されていたように思います。

１９８１年に中学校入学。中、高は兄が先に入っていた大阪の私立の学校に行きました。全寮制のため親元を離れての生活です。最初はホームシックにかかったものの、慣れると楽しいところでした。朝から体操、ランニング、掃除…、そして点呼の嵐で忙しい、厳しい毎日でした。また、当時の我が校は硬式野球部がとても強かったので、春休み、夏休みには何度も甲子園のアルプススタンドで応援していました。

１９８７年に６年間の寮生活を終え、目標としていた大学の水産学部に入学します。母の実家がある鹿児島で７年間、自由な田舎生活を満喫しました。お酒、サークル、アルバイト、ダイビング、魚の研究等、現在も続けていることを身につけたり、杯を交わして多くの友人をつくった時代でした。教養の３年間はどちらかというと、学業より音楽サークル中心に生活していました。３年次に休学させてもらい、旅行会社に勤めていた兄がいたイギリスに訪れたり、自転車で日本一周したりと旅をさせてもらいました。復学後の卒論から修論にかけての３年半はさらに南の奄美大島に棲息する淡水魚の研究をしました。大学の３年くらいまでは水産会社に入ることを考えていたのですが、卒論や修論で魚の生態研究に触れたことで気持ちが変わり、水族館業界を目指すことにしました。最近は、小さな頃から水族館に入りたいという夢を持って勉強してくる人がいますが、私はそうではなかった方ということになります。

1994 年に株式会社江ノ島水族館（現：株式会社江ノ島マリンコーポレーション）に入社しました。入社して１０年は、旧江ノ島水族館で働きました。旧館は３つの建物（水族館、マリンランド、海の動物園）に分かれていて、それぞれ独立した水族館のようでした。マリンランドでは、当時飼育歴ナンバーワンだったハナゴンドウのヨンなどを、海の動物園では、コツメカワウソ、ゴマフアザラシなどを担当しました。彼ら動物が仕事仲間、同僚という感じです。体調をくずしたりすると治療などを施すわけですが、その間は心配で憂鬱な気持ちになるなど、本当に彼ら中心の生活を送っていました。その後、魚類や無脊椎動物を担当する旧水族館に異動。ほどなく新水族館建設に向けた業務が始まりました。私は当館で扱っていなかった藻場、干潟、キサンゴ類等の担当となり、準備を進めました。新水族館建設前後は周辺も工事が多く、護岸工事、県営の地下駐車場工事、江の島灯台の建て替え工事、片瀬漁港建設工事、と水族館の営業には厳しい状況でした。工事の進捗にあわせて、新水族館側の受け入れ準備が整ったところから、動物を移動させていきました。旧水族館、魚の建物は最後まで営業していましたので、展示水槽にいた魚などは旧水族館の閉館以降に新水族館に移動させました。

そして、２００４年４月に新江ノ島水族館がグランドオープンしました。先に触れた担当の水槽はどうにかオープンにこぎつけました。オープン後も展示維持には苦労しましたが、それらは現在でも相模湾ゾーンの主要な展示となっています。現場作業に明け暮れている中、2005 年に魚類チームのチームリーダーを拝命しました。最初は変わらずに現場の仕事もやっていましたが、徐々にマネージャーの仕事がメインとなりました。ここから十数年、えのすいの魚類展示の企画展示や新展示、イベント開催などを滞りなく運営することに全力を尽くしてきました。新水族館１０周年となる２０１４年には、地元の名産であるシラスの展示を始めて、その後改良を加え、現在はほぼ周年でシラスをご覧いただけるようになりました。２０１９年末からコロナ感染症が世界規模で広がりました。これまでも様々な災害がありましたが、最大の出来事であることは間違いありません。当館も２０２０年には約３か月の休館を余儀なくされましたが、再開の日には、たくさんのお客様、取材陣がお越しいただきとても感動しました。

昨年２０２１年４月に新江ノ島水族館　館長職を拝命いたしました。これまで諸先輩方が作ってきた歴史ある江ノ島水族館としてはずかしくないよう、さらに発展させるべく努力してきましたが、館長就任という

ことは思いもよらないことでした。以降、あらためて地域、水族館の歴史、研究史、博物館法、動物福祉等の勉強を始めました。動物園や水族館は、種や環境の保全という大きな役割に加えて、飼育動物の福祉が大きな課題となっています。今後そういったものも含めて、新江ノ島水族館が地域のハブとなって、世のため人のため世界平和のために貢献できるよう、また、水族館としてしっかりと地に足のついた運営をしていけるよう、やるべきことに全力で取り組みたいと思っています。一方、このタイミングで自分自身を顧みたところ、引き出しの少なさ、視野の狭さ、幼稚さにあきれる毎日です。今後はこれまで以上に様々なことに興味を持ってチャレンジし、いろいろな方に出会って、感動して、楽しんで、共感して、意見交換して、アウトプットして人間としての幅を広げていきたいと思っています。ロータリークラブに入会させていただき、１年ほど経ちました。ふつうに挨拶したり、お祝いしたり、お話を聞いたり、当たり前のことを当たり前にやることの大切さを感じております。また、みなさんのことを知るにつけ、シャキッとしてかっこいい先輩方ばかりで、自分もかっこよく年を重ねていければ、と考える今日この頃です。貴重なご縁に感謝しつつ、いろいろな場面で貢献できるように努力したいと思っております。 みなさま、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

世界初のシラスの生体常設展示の貴重な写真を
いただきました。展示されているシラスは、
自家繁殖個体だそうです。

ERERY クラブバナー

100％寄付クラブバナー

END　PORIO　NOW 支援への感謝状

大和ロータリークラブより感謝状をいただきました

本日のお料理